

1 カンファレンス

【期間】 10月30日（金曜日）～11月1日（日曜日） ★要事前申込み

【会場】 東京国際フォーラム ホールB5

各界を代表するアーティスト、実践者、研究者など多彩な登壇者をお招きし、5つのセッションにて参加者とともにウェルビーイングを捉え直します。「Moving Together ともに生きる文化」をテーマに、様々な事例や実践を共有して活発に議論し、国内外の専門家・実践者などの多様な参加者が学びあう場とします。

【モデレーター紹介】

2人のモデレーターが5つのセッションに伴走し、各回で交わされる先鋭的な対話のバトンを、次の登壇者や参加者へと分かりやすくつなぎます。



堀内 奈穂子
Horiuchi Naoko

【AIT/エイト】キュレーター、
「dear Me」プロジェクトディレクター、
保育士



ロジャー・マクドナルド
Roger McDonald

【AIT/エイト】キュレーター、
美術史家

撮影：Sayaka Takizawa

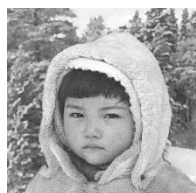
【プロローグ】 10月30日（金曜日） 18:30-19:00

2022年から開催してきた「だれもが文化でつながる会議」の議論を振り返るとともに、3日間のカンファレンスの全体像やテーマを共有し、5つのセッションへとつなぎます。

セッション 国内外の各分野におけるキーパーソンと問いを深める対話を実施

【オープニングセッション】 「芸術文化がつむぐ明日」 10月30日（金曜日） 19:00-21:00

ウェルビーイングは個人の内側に閉じるのではなく、他者や環境、そしてより長い時間のなかで捉え直されつつあります。人間中心にとどまらない眼差しで、場をひらき、自然や都市と人間生活との間で実践や研究を重ねる登壇者が、これからの時代の芸術文化のありようを問いかけます。



鴻池 朋子
Konoike Tomoko

アーティスト



小山田 徹
Koyamada Toru

芸術家、
京都市立芸術大学
学長



斉藤 百合子
Saito Yuriko

哲学者、
ロードアイランド・スクール・
オブ・デザイン名誉教授

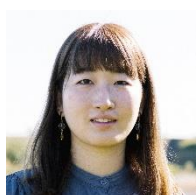
① 「しなやかな共助」 10月31日（土曜日） 10:00-12:00

天災や不測の事故で、慣れ親しんだ場所やあたりまえの状況が一変するとき。コミュニケーションやケアのあり方を問い直すとき。目の前の状況を気鋭のアーティストや研究者たちはどのように読み解いていくのか。しなやかな共助から生まれた事例から、ともに生きる文化のあり方を探ります。



森下 有
Morishita Yu

研究教育者、
東京大学生産技術
研究所特任准教授



瀬尾 夏美
Seo Natsumi

アーティスト、作家

撮影：Hiroshi Ikeda



クリスティン・ウォン・ヤップ
Christine Wong Yap

ビジュアルアーティスト、
社会実践者

②「アイデンティティと文化」 10月31日（土曜日）15:30-17:30

わたしたちの社会では、文化や歴史、身体、周囲とのかかわりなど、多様な要素のなかで「わたし」をかたちづくっています。しかし社会の「あたりまえ」は、ときに誰かを沈黙させ、文化やルーツを見えなくしてしまうことがあります。ともに生きることに潜む困難や対話や表現の可能性を考えます。



ジュマナ・エミル・アブード
Jumana Emil Abboud

ビジュアルアーティスト

撮影：岩根愛



北原 モコットウナシ
Kitahara Mokottunas

北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授



松崎 丈
Matsuzaki Jo

宮城教育大学教育学部
特別支援教育専攻教授

③「Moving Together 夢とともに生きる」 11月1日（日曜日）10:00-12:00

異なる土地や境遇のなかで創造と実践を積み重ねてきた登壇者たちは、夢を抱きながらそれぞれの経験と想像力を他者へと手渡してきました。「わたし」の夢が他者の夢へとつながった一連の事例を通して、人の尊厳について語ります。



サンギータ・ジョギ
Sangita Jogi

アーティスト



小林 エリカ
Kobayashi Erika

作家、アーティスト



西 加奈子
Nishi Kanako

作家、アーティスト

撮影：若木信吾



ギータ・ヴォルフ
Gita Wolf

作家、トラブックス創設者

【クロージングセッション】「クリエイティブ・ウェルビーイング とともに生きる文化」

11月1日（日曜日）15:30-18:00

カンファレンスで展開された議論とアイデアを包括し、これからのウェルビーイングを生み出す芸術文化の役割を、未来に向けて提言します。



青柳 正規
Aoyagi Masanori

アーツカウンシル東京
機構長、
多摩美術大学理事長

撮影：Itaru Hirama



小池 一子
Koike Kazuko

クリエイティブ・
ディレクター

撮影：Taishi Hirokawa



宮島 達男
Miyajima Tatsuo

現代美術家

写真：LISSON GALLERY MILANO



ジャスティーン・サイモンズ
Justine Simons

ロンドン市 文化・クリエイティブ産業担当副市長

撮影：Rankin



堀内 奈穂子
Horiuchi Naoko

【AIT/エイト】キュレーター、
「dear Me」プロジェクト
ディレクター、保育士



ロジャー・マクドナルド
Roger McDonald

【AIT/エイト】キュレーター、
美術史家

撮影：Sayaka Takizawa

2 ネットワーキング

【期間】 10月30日（金曜日）～11月1日（日曜日） ★要事前申込み

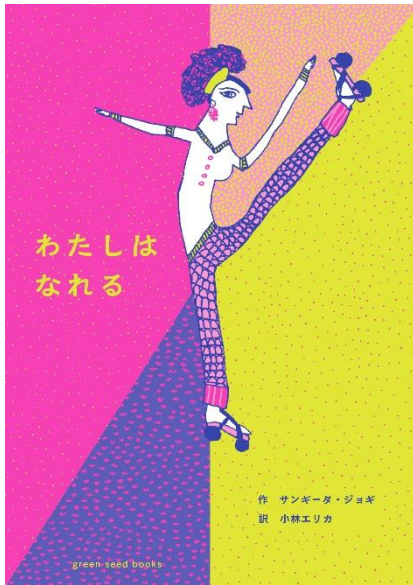
【会場】 東京国際フォーラム ホールD5

トーク、パフォーマンス、ワークショップ等を通して、参加者と登壇者がともに交流しながら語ります。作品や言葉に触れるだけでなく、声や身体、他者との応答で「ともに生きる文化」を体感します。今回は、11月1日に実施するセッション「Moving Together 夢とともに生きる」の関連プログラムをご紹介します。

ワークショップ わたしの「わたしは なれる」の旗をつくる

日時：10月31日(土) 13:00～15:00

登壇者：サンギータ・ジョギ、小林エリカ



インドのアーティスト、サンギータ・ジョギによる絵本『わたしは なれる』は、**しなやかな想像力と、厳しい現実に対する抵抗のメッセージ**を込めた作品です。幼くして結婚し、家事や労働に追われる日々のなかで、ジョギは「なりたいうようになれる」未来の女性の姿を、自由への願いを込めて描き出しました。

本プログラムでは、**この本の作者・翻訳者とともに、参加者それぞれの「わたしは なれる」を表現し旗をつくります**。ジョギの夢は、その場に集う人々の思いや願いとどのように響き合うのでしょうか。

書影：サンギータ・ジョギ『わたしは なれる』（green seed books, 2025）

3 展示

【期間】 10月28日（水曜日）午後～11月1日（日曜日）

【会場】 東京国際フォーラム 地下1階 ロビーギャラリー

本会議のテーマ「Moving Together ともに生きる文化」と呼応するアーティストの作品や、東京都、東京都歴史文化財団の取り組み事例等をご紹介します。

宮島達男をはじめ、クリスティン・ウォン・ヤップ、ジュマナ・エミル・アブード、小森はるか+瀬尾夏美、是恒さくら、サンギータ・ジョギ、碓井ゆいと青木彬等による作品・プロジェクトを紹介します。

震災の記憶、平和への願い、土地に根ざした営み、誰かとともに在ることの感覚に触れながら、来場者は「ウェルビーイング」を個人の内側だけでなく、人や社会、自然との関係のなかで捉え直していきます。（詳細は8月下旬に発表予定）



写真：2024年開催時

キックオフ企画「マルチスピーシーズ」[※]★要事前申込（全3回）

本会議に先立ち、自然界と対話し活動を展開するアーティストや研究者が、日頃考えていること、感じていることを語る場。今回は第2回、第3回登壇者についてお知らせします。

なお、第1回は写真家・石川直樹を迎え、8月3日（月）に自由学園明日館にて開催します。（7月13日（月）から先着順にて受付中。定員に達し次第終了）

※マルチスピーシーズ（Multispecies）…人間のみならず、動物、植物、菌類などあらゆる種（species）が絡まり合って世界をつくり上げているという見方

第2回



登壇者：是恒さくら（アーティスト、秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻・助手）
日時：8月20日（木）18:00～20:00
会場：自由学園明日館 食堂（東京都豊島区西池袋2丁目31-3）
定員：30名（要申込み・先着順）
参加費：無料
申込方法：7月30日（木）14:00 から、公式ウェブサイトにて受付開始
使用言語：日本語 ※日本手話通訳、字幕あり

第3回



登壇者：藤原辰史（歴史学者、京都大学人文科学研究所教授）
日時：9月3日（木）18:00～20:00
会場：SCC千駄ヶ谷コミュニティセンター サークルホール
（東京都渋谷区神宮前1丁目1-10）
定員：30名（要申込み・先着順）
参加費：無料
申込方法：8月10日（月）14:00 から、公式ウェブサイトにて受付開始
使用言語：日本語 ※日本手話通訳、字幕あり

プログラムの詳細や申し込みについては、公式ウェブサイトにて順次公開予定です。
（10月28日から11月1日のプログラムの申込みは8月下旬から受付開始予定）

URL：<https://creativewell.rekibun.or.jp/creativewell-conference/2026.html>



**Creative
Well-being
Tokyo**

だれもが文化でつながるプロジェクト

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーについて

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象者に「アクセシビリティ向上」と「鑑賞・創作・発表機会の拡大」に取り組むプロジェクト。都立文化施設の情報アクセシビリティ環境を整備し、障害や年齢等を問わずあらゆる人が芸術文化を享受できるプログラムを実施しています。